



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東 名

上場会社名 トヨタ紡織株式会社

コード番号 3116 URL <http://www.toyota-boshoku.com>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 豊田 周平

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 岩森 俊一

TEL (0566)26-0313

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	277,587	64.0	10,227	—	10,094	651.8	6,427	—
24年3月期第1四半期	169,304	△32.4	677	△93.1	1,342	△85.8	△3,101	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 7,318百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 △2,937百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	34.69	—
24年3月期第1四半期	△16.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	589,108	195,254	28.1
24年3月期	597,654	190,347	26.9

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 165,343百万円 24年3月期 161,015百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.00	—	9.00	16.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	8.00	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	520,000	29.7	16,000	192.0	16,000	181.3	6,000	—	32.38
通期	1,010,000	4.7	30,000	43.5	30,000	29.2	13,000	302.1	70.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 一社 （社名） 、 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 ： 有
 - ④ 修正再表示 ： 無

（注）詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期1Q	187,665,738 株	24年3月期	187,665,738 株
25年3月期1Q	2,362,828 株	24年3月期	2,362,828 株
25年3月期1Q	185,302,910 株	24年3月期1Q	185,302,980 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は平成24年7月31日に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の連結業績につきましては、売上高は、増産の影響などにより、前年同四半期連結累計期間に比べ1,082億円(64.0%)増加の2,775億円となりました。利益につきましては、製品価格変動の影響、労務費・諸経費の増加などの減益要因はありましたが、増産増収の影響、合理化などにより、営業利益は、前年同四半期連結累計期間に比べ95億円増加の102億円、経常利益は、前年同四半期連結累計期間に比べ87億円(651.8%)増加の100億円、四半期純利益(純損失)につきましては、前年同四半期連結累計期間に比べ95億円(前年同四半期連結累計期間は31億円の四半期純損失)増加の64億円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①日本

当地域におきましては、エコカー購入支援政策及びアクア、プリウスαの増産効果などにより、売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ694億円(78.8%)増加の1,575億円となりました。営業利益(損失)につきましては、増産効果などにより、前年同四半期連結累計期間に比べ51億円(前年同四半期連結累計期間は30億円の営業損失)増加の21億円となりました。

②北中南米

当地域におきましては、カローラ、RAV4の増産効果などにより、売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ169億円(60.2%)増加の450億円となりました。営業損失につきましては、トヨタ紡織ドブラジル有限責任会社の生産準備費用の影響などはあったものの、増産効果や収益構造改革の成果などにより、前年同四半期連結累計期間に比べ28億円(前年同四半期連結累計期間は28億円の営業損失)減少の0億円となりました。

③アジア・オセアニア

当地域におきましては、IMVの増産効果などにより、売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ154億円(26.9%)増加の728億円となりました。営業利益につきましては、増産効果などにより、前年同四半期連結累計期間に比べ17億円(25.3%)増加の84億円となりました。

④欧州・アフリカ

当地域におきましては、フランスのヤリスの増産効果や、前連結会計年度にPOLYTEC Holding AGの内装事業部門を取得し、紡織オートモーティブヨーロッパ有限責任会社として事業を開始したことなどにより、売上高は、前年同四半期連結累計期間に比べ107億円(201.2%)増加の161億円となりました。営業損失につきましては、固定費の増加などにより、前年同四半期連結累計期間に比べ1億円(前年同四半期連結累計期間は8億円の営業損失)増加の9億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、売上債権の減少などにより、前連結会計年度末に比べ85億円減少の5,891億円となりました。

一方、負債は、前連結会計年度末に比べ134億円減少し、3,938億円となりました。主な要因は、買入債務の減少などによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ49億円増加し、1,952億円となりました。主な要因は、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつあるものの、欧州債務問題の深刻化や新興国経済の一段の減速により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

自動車業界におきましては、エコカー購入支援策などにより、生産台数は堅調に推移してきたものの、長期化する円高や電力供給不足など予断を許さない状況が続くものと思われます。

このような中で当社グループは、さらなる飛躍をはかり、もう一段上のステージを目指していくために、「2020年Vision」を策定いたしました。「2020年Vision」では、2020年にありたい姿として「世界中のお客様に最高のモビリティライフを提案し続ける会社」、「すべてのステークホルダーから信頼され、共に成長する会社」を掲げました。また、2011年度から2015年度までを「飛躍のための構造改革期」と位置づけ、次の4つの主要課題に取り組んでまいります。具体的には、①事業領域の拡大に向けた先端技術の追求、②新興国を中心としたグローバルでの事業拡大の加速、③幅広い顧客拡大に向けた業務・組織改革、④日本事業のスリム、高効率、高付加価値化の徹底でございます。これらの課題に対し、これまでの考え方や価値観に捉われることなく、「Quantum Leap」、すなわち発想の飛躍を持って取り組んでまいります。

業績予想につきましては、当第2四半期連結累計期間の予想を、為替レート1US\$=80円、1EURO=100円の想定のもと、売上高5,200億円、営業利益160億円、経常利益160億円、当期純利益60億円、また、通期の予想を、為替レート1US\$=80円、1EURO=100円の想定のもと、売上高1兆100億円、営業利益300億円、経常利益300億円、当期純利益130億円と見込んでおり、平成24年4月27日の公表値から変更していません。

上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因等により大きく異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	101,650	110,005
受取手形及び売掛金	154,029	141,946
有価証券	55,034	53,600
商品及び製品	4,564	4,412
仕掛品	4,725	6,360
原材料及び貯蔵品	17,136	17,246
その他	35,193	33,926
貸倒引当金	△281	△284
流動資産合計	372,052	367,214
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	75,696	74,487
機械装置及び運搬具（純額）	72,893	71,052
その他（純額）	41,242	41,474
有形固定資産合計	189,832	187,014
無形固定資産		
のれん	3,670	3,435
その他	755	774
無形固定資産合計	4,426	4,210
投資その他の資産		
投資有価証券	10,499	10,037
その他	21,011	20,801
貸倒引当金	△168	△168
投資その他の資産合計	31,342	30,669
固定資産合計	225,602	221,894
資産合計	597,654	589,108

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	158,305	145,082
短期借入金	16,282	14,726
1年内返済予定の長期借入金	35,181	35,278
未払法人税等	4,527	5,692
製品保証引当金	1,478	1,513
役員賞与引当金	191	86
その他	56,237	55,869
流動負債合計	272,204	258,249
固定負債		
長期借入金	103,918	104,398
退職給付引当金	26,141	26,663
役員退職慰労引当金	860	554
資産除去債務	323	325
その他	3,857	3,663
固定負債合計	135,101	135,605
負債合計	407,306	393,854
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,400	8,400
資本剰余金	9,098	9,098
利益剰余金	176,630	181,390
自己株式	△4,675	△4,675
株主資本合計	189,454	194,214
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	785	671
為替換算調整勘定	△29,224	△29,541
その他の包括利益累計額合計	△28,439	△28,870
新株予約権	972	989
少数株主持分	28,360	28,921
純資産合計	190,347	195,254
負債純資産合計	597,654	589,108

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	169,304	277,587
売上原価	156,512	251,619
売上総利益	12,792	25,968
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	4,846	5,475
その他	7,267	10,265
販売費及び一般管理費合計	12,114	15,741
営業利益	677	10,227
営業外収益		
受取利息	297	399
持分法による投資利益	188	323
その他	2,049	1,382
営業外収益合計	2,536	2,104
営業外費用		
支払利息	398	483
為替差損	404	1,041
その他	1,067	712
営業外費用合計	1,871	2,237
経常利益	1,342	10,094
特別損失		
災害による損失	3,288	—
特別損失合計	3,288	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	△1,945	10,094
法人税、住民税及び事業税	2,880	4,264
法人税等調整額	△2,958	△2,192
法人税等合計	△77	2,071
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△1,867	8,022
少数株主利益	1,233	1,594
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△3,101	6,427

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	△1,867	8,022
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6	△114
為替換算調整勘定	△1,121	△731
持分法適用会社に対する持分相当額	45	142
その他の包括利益合計	△1,069	△704
四半期包括利益	△2,937	7,318
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,007	5,996
少数株主に係る四半期包括利益	1,070	1,322

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北中南米	アジア・ オセアニア	欧州・ アフリカ	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	80,784	27,596	55,649	5,273	169,304	—	169,304
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,334	512	1,732	91	9,670	△9,670	—
計	88,119	28,109	57,381	5,364	178,974	△9,670	169,304
セグメント利益又は損失(△)	△3,036	△2,891	6,759	△839	△6	684	677

(注) 1 セグメント利益の調整額684百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	北中南米	アジア・ オセアニア	欧州・ アフリカ	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	146,881	44,494	70,450	15,761	277,587	—	277,587
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,638	549	2,358	398	13,944	△13,944	—
計	157,520	45,043	72,808	16,160	291,532	△13,944	277,587
セグメント利益又は損失 (△)	2,123	△76	8,469	△989	9,527	699	10,227

(注) 1 セグメント利益の調整額699百万円は、主にセグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

1. 連結業績

(単位:億円, %, ()は売上高比率)

	前年同四半期 (23.4.1～23.6.30)		当第1四半期 (24.4.1～24.6.30)		増減額	増減率	通期予想 (24.4.1～25.3.31)		対前期 増減率
売上高	(100.0)	1,693	(100.0)	2,775	1,082	64.0	(100.0)	10,100	4.7
営業利益	(0.4)	6	(3.7)	102	95	-	(3.0)	300	43.5
経常利益	(0.8)	13	(3.6)	100	87	651.8	(3.0)	300	29.2
特別損益		△ 32		-	32	-		-	-
税金等調整前当期純利益	(△ 1.1)	△ 19	(3.6)	100	120	-	(3.0)	300	50.5
当期純利益	(△ 1.8)	△ 31	(2.3)	64	95	-	(1.3)	130	302.1
1株当たり当期純利益	△16円73銭		34円69銭				70円16銭		
自己資本当期純利益率	△1.9%		3.9%				7.8%		
設備投資	53		55		2	4.8	420		11.7
減価償却費	72		72		0	0.4	330		4.7

予想為替レート

円 / US\$	80
円 / EUR	100

2. 営業利益・経常利益の増減要因
[対前年同四半期比較]

(単位:億円)

要 因		金 額
増益	増産増収の影響	178
	合理化	70
	計	248
減益	製品価格変動の影響	70
	労務費の増加	37
	諸経費の増加	32
	減価償却費の増加	9
	為替の影響	3
	新規連結子会社立上げの影響	2
	営業外収支の減少	8
	計	161
差引経常利益の増加		87

3. 連結貸借対照表

(単位:億円)

資産の部				負債・純資産の部			
科 目	12/3末	12/6末	増減	科 目	12/3末	12/6末	増減
流動資産	3,720	3,672	△48	流動負債	2,722	2,582	△139
現金預金	1,016	1,100	83	買入債務	1,583	1,450	△132
売上債権	1,540	1,419	△120	短期借入金	162	147	△15
有価証券	550	536	△14	その他	976	984	8
たな卸資産	264	280	15	固定負債	1,351	1,356	5
その他	349	336	△12	長期借入金	1,039	1,043	4
固定資産	2,256	2,218	△37	退職給付引当金	261	266	5
有形固定資産	1,898	1,870	△28	その他	50	45	△4
無形固定資産	44	42	△2	(負債計)	4,073	3,938	△134
投資その他の資産	313	306	△6	株主資本	1,894	1,942	47
				資本金	84	84	-
				資本剰余金	90	90	-
				利益剰余金他	1,719	1,767	47
				その他の包括利益累計額	△ 284	△288	△4
				新株予約権	9	9	0
				少数株主持分	283	289	5
				(純資産計)	1,903	1,952	49
合 計	5,976	5,891	△85	合 計	5,976	5,891	△85

4. 連結売上高の内訳

(単位:億円, %, ()は構成比率)

	前年同四半期 (23.4.1～23.6.30)		当第1四半期 (24.4.1～24.6.30)		増減額	増減率	通期予想 (24.4.1～25.3.31)		対前期 増減率
日本	(52.0)	881	(56.7)	1,575	694	78.8	(58.9)	5,950	4.0
北中南米	(16.6)	281	(16.2)	450	169	60.2	(14.4)	1,450	1.8
アジア・オセアニア	(33.9)	573	(26.2)	728	154	26.9	(26.2)	2,650	5.9
欧州・アフリカ	(3.2)	53	(5.8)	161	107	201.2	(5.9)	600	17.7
消 去	(△ 5.7)	△ 96	(△ 4.9)	△ 139	△ 42	-	(△ 5.4)	△550	-
合 計	(100.0)	1,693	(100.0)	2,775	1,082	64.0	(100.0)	10,100	4.7

5. 子会社・関連会社数

(単位:社)

	前年同四半期 (23.6.30現在)	当第1四半期 (24.6.30現在)	増減
子 会 社	82	82	-
関 連 会 社	10	10	-

6. 単独業績

(単位:億円, %, ()は構成比率)

	前年同四半期 (23.4.1～23.6.30)		当第1四半期 (24.4.1～24.6.30)		増減額	増減率
売上高	(100.0)	866	(100.0)	1,555	689	79.5
営業利益	(△ 2.5)	△ 21	(0.9)	14	36	-
経常利益	(7.1)	61	(2.9)	44	△ 16	△ 27.1
特別損益		△ 27		-	27	-
税引前当期純利益	(3.9)	34	(2.9)	44	10	31.0
当期純利益	(4.7)	40	(3.1)	48	7	18.2
設備投資		13		19	5	41.5
減価償却費		36		33	△ 2	△ 8.0